

「カラーコンタクトレンズによる眼障害の発生状況に関する実態調査」  
(平成 26 年度厚生労働省特別研究) へのご協力をお願い

平成 26 年 5 月 22 日、独立行政法人国民生活センターが“カラーコンタクトレンズ（カラーCL）の安全性”について、いくつかの問題点を報告しました。そのうちカラーCLの眼に及ぼす影響の研究では、国内で承認を受けている 16 銘柄の視力補正用カラーCLの開封直後の新品レンズを 8 時間装用したところ、16 銘柄中 15 銘柄で治療や何らかの対応が必要な眼障害が確認されました。今回の研究では、カラーCLによる眼障害の発症原因をさらに明らかにする目的で、カラーCL（非視力補正用、視力補正用）を含めたソフトコンタクトレンズ（SCL）眼障害について、全国の眼科医療機関にアンケート調査を実施し、カラーCLによる眼障害の発症の機序を統計学的に解析します。今後、国のカラーCL承認基準の変更などの必要性を検討する上でも、重要な資料となります。是非、ご協力をお願いいたします。

平成 26 年度厚生労働科学特別研究事業

研究責任者 齧島 由司

研究分担者 糸井 素純、金井 淳、澤 充

研究協力者 高橋 和博、柿田 哲彦、植田 喜一、小野 浩一